

論文掲載公開料 (APC) 支援 (Q&A 集)

(改版履歴)

2026.2

初版

●用語の定義

※本資料における「本学専任教員」の範囲は、専任教員、任期付教員、特定任用研究員、特別任用助教（有期研究員）、特別任用助手（有期研究員）、外国人留学生助手（有期）、チーフプロフェッサー、特別研究員、特別客員教授のいずれかとします。

※「指導学生」は、本学専任教員（申請者）が直接指導している博士後期課程学生（一貫制博士課程の場合は、3年次以上）のことを指します。

●支援の対象、内容

Q1-1. 著者ポジションと申請の可否を具体的に教えてほしい。

A. 下表のとおりとなります。なお、下表は著者ポジションと申請の可否のみを示していますので、支援を受けるための他の要件（同一年度の支援回数など）も併せてご確認ください。

筆頭著者	責任著者	共著者	申請可否
本学専任教員（申請者）			○可能
	本学専任教員（申請者）		○可能
		本学専任教員（申請者）	×不可
指導学生	指導学生	本学専任教員（申請者）	○可能
指導学生	指導学生		×不可
指導学生	本学専任教員（申請者）		○可能
指導学生		本学専任教員（申請者）	×不可
指導学生			×不可

Q1-2. 支援される APC に上限はあるか？

A. 個々の支援に関して上限はありません。APC の実費を支援します。なお、予算の上限があるため、支援の実施状況（実績）によっては、申請の受付を終了している可能性があります。

Q1-3. 論文投稿料も支援対象となるか？

A. 支援対象は、APC となります。論文投稿時（査読前）に一定の投稿料を支払い、掲載決定後に APC を支払うタイプのジャーナルの場合、本支援の対象となるのは APC のみです。掲載決定前に支払う投稿料は支援の対象にはなりません。また、ジャーナルによっては、ページチャージ（ページ数が一定数を超えた場合の追加料金）やカラーチャージ（論文中の Figure をカラーで

収録するための料金)等が別途規定されている場合がありますが、これらの料金も本支援の対象とはなりません。

Q1-4. 即時オープンアクセスではなく、オープンアクセスになるまでに「エンバーゴ期間」がある場合でも支援対象となるか？

A. 支援の対象となります。

Q1-5. 「エンバーゴ期間あり／なし」や「CCライセンスの選択」等で、APCの金額が異なる場合、支援対象の制限はあるのか？

A. エンバーゴ期間の有無やCCライセンスによってAPCが異なる場合、いずれを選択した場合でも支援を実施します(低額なプランを選択しなければならないといった制約はありません)。

Q1-6. 掲載誌が支援対象かどうか(TOP10%ジャーナルかどうか)わからない。CiteScore percentileの調べ方を教えてほしい。

A. 添付資料「TOP10パーセントジャーナルの確認方法」を参照願います。

Q1-7. 複数年のCiteScore percentileが表示されている場合、過去のCiteScore percentileのいずれかがTOP10%ジャーナルの要件を満たしていれば、申請可能か？

A. 最新のCiteScore percentileで判断します。公平を期すため、同じ条件で判断させていただきます。ジャーナルによっては、最新年のCiteScoreの付与対象から除外されているケースがあるかもしれませんが、その場合も支援対象とはなりません。申請情報に基づき、事務局にて最終確認させていただきます。

Q1-8. インパクトファクターの高い雑誌への掲載に対して、同じような支援を実施してほしい。

A. インパクトファクターは、研究分野等によってばらつきが異なり、横並びでの評価が難しいため、CiteScore percentile(相対位置)で判断することとしています。

Q1-9. 研究分野や対象となるジャーナルによっては、著者名をアルファベット順に掲載するというルールに基づく場合がある(キロオサーペーパーにおいて同様の扱いがなされている事例もある)。このように「筆頭著者」「責任著者」といった概念がない場合(著者の並び順に特別な意味がない場合)、どのように申請すればよいのか？

A. 研究分野や対象となるジャーナルの規定等によって、「筆頭著者」「責任著者」の概念がないケースがある場合でも、本支援では、共通の条件(「筆頭著者」または「責任著者」)で判断させていただきます。意に沿えない場合があるかもしれませんが、ご了承ください。

●申請方法

Q2-1. 本支援は何度でも申請することが可能か？

A. 同一年度に申請できる件数は原則 1 件のみとします。ただし、本学専任教員が指導する博士後期課程学生（一貫制博士課程の場合は、3 年次以上）が「筆頭著者」の場合は、「筆頭著者」毎に 1 回／年度の追加支援を受けることができます（同一の「筆頭著者」に対して同一年度に複数回の支援は受けられません）。なお、申請受付後に要件を満たさないことが明らかとなり、APC 支援を受けられなかった場合は、申請回数にカウントしません。

例)

申請順	筆頭著者	責任著者	共著者	支援の可否
1	本学専任教員 (申請者)			支援 OK (本人の 1 件目)
2		本学専任教員 (申請者)		NG (本人の 2 件目のため)
3	指導学生 A	指導学生 A	本学専任教員 (申請者)	支援 OK (学生 A の 1 件目)
4	指導学生 B	本学専任教員 (申請者)		支援 OK (学生 B の 1 件目)
5	指導学生 A	本学専任教員 (申請者)		NG (学生 A の 2 件目のため)

Q2-2. 現在投稿中の論文があり、まだ掲載確定していないが、確定次第、本 APC 支援を受けたい。掲載が確定する前提（掲載が確定しなかった場合は取り下げる前提）で申請してもよいのか？

A. 申請できません。掲載が確定した後で申請してください。

Q2-3. 今年度中に APC の決済をしていれば、掲載（公開）が次年度になっても、今年度枠での支援になると考えてよいのか？その場合、次年度の枠で別の論文に対する支援を受けられると考えてよいのか？

A. 論文の掲載（公開）時期は問いません。例えば、2 月に APC 支払いのクレジットカード決済を行い、翌年度の 4 月以降に論文が公開となった場合でも、決済年度の支援の扱いとします。ただし、3 月にクレジットカード（法人カード）決済した場合は、会計上、次年度の予算の扱いとなります。例えば、3 月に APC 支払いのクレジットカード決済を行い、3 月中に論文が掲載（公開）された場合でも、予算執行上は次年度の予算となります。この場合、次年度における APC 支援を実施済みの扱いとなりますので、次年度において別の論文に対する支援は受けられません。

Q2-4. 2 月までに法人カード決済して、3 月になってから申請を行った場合、次年度の支援枠で支援され则认为てよいのか？

A. 原則、APC 支払いの決済前に本支援の申請を完了させてください。何らかの事情により、APC 支払いの決済を先に実施してしまった場合は、すみやかに申請処理を行ってください。なお、その場合でも、法人カード決済が 2 月以前（前年度の 3 月～今年度の 2 月）の場合、本支援への申請手続き時期（申請フォームへの入力）を 3 月にした場合でも、本年度の支援枠となります。もしすでに本年度の支援を受けている場合は、同年度に 2 件以上の支援ができないことがありますのでご注意ください（Q2-1 も参照してください）。

Q2-5. 本支援の申請 form からの申請の前に APC の決済を完了してしまった。いまから申請してもよいのか？

A. すみやかに申請 form から申請してください。なお、申請内容（同年度の支援実績の有無など）によっては、支援が受けられない可能性がありますので、できる限り、「支援決定通知」（メール送信）の受領後に APC の決済を行ってください。

Q2-6. 個人のクレジットカードで決済することは可能か？

A. できません。事務処理の効率化の観点から、法人カードによる決済をお願いしています。なお、APC が高額で、法人カードの「利用限度額」を超える可能性がある場合は、限度額の増枠について部課管理者（学部事務室等）にご相談ください。

Q2-7. 本支援のことを知らずに、「法人カード」以外の決済手段で APC の支払いを完了してしまった。いまから申請してもよいのか？

A. 法人カードによる決済を要件としておりますので、APC 支援の対象とはなりません。

●その他

Q3-1. 従来実施されていた「国際学術論文公開奨励研究費（高インパクトの OA 誌掲載への支援）」との併用（重複受給）はできるのか？

A. 「国際学術論文公開奨励研究費（高インパクトの OA 誌掲載への支援）」は、2025 年度から、本支援に変更となりました。現在、「国際学術論文公開奨励研究費（高インパクトの OA 誌掲載への支援）」の新規募集は行っておりません。

●Wiley 社のジャーナルに掲載する場合

※以下の Web ページに掲載している Wiley Open Access Account (WOAA) 契約の「オープンアクセス出版手続きガイド」もあわせてご覧ください。

（参考ページ：https://rd.doshisha.ac.jp/rd/inside/oa/oa_support.html）

Q4-1. Wiley 社のジャーナルに掲載する場合、WOAA 契約に基づく論文掲載公開料 (APC) の割引と、本 APC 支援の両方の支援を受けることは可能か？

A. TOP10%ジャーナル等、本支援の要件を満たす場合は、両方の支援を受けることができます。

Q4-2. WOAA 契約と本 APC 支援の両方の支援を受ける手順を教えてください。

A1. ハイブリッド OA 誌の場合、論文がアクセプトされるとアクセプト通知メールが届きます。アクセプト通知メールの受領後、本 APC 支援の申請フォームから申請を行ってください。研究開発推進機構において、APC 支援の可否を確認し、「支援決定通知」を発出します（申請受付時点で予算がなくなっていた場合は、APC 支援を受けることができません）。APC 支援の可否が確定しましたら、OA 出版または非 OA 出版を選択し、WOAA 契約の「オープンアクセス出版手続きガイド」に基づき、所定の手続きを行ってください。

※「APC 支援があれば OA にする」、「APC 支援がなくても他の研究費等で OA にする」、「APC 支援がなければ OA にしない」といった判断をお願いします。

A2. フルゴールド OA 誌の場合は、論文投稿時点（アクセプト前）では、本 APC 支援を受けられるかどうか判断できません（予算の執行状況によります）ので、申請者自身で APC 相当額の予算を確保の上、WOAA 契約の「オープンアクセス出版手続きガイド」に基づき、所定の手続きを行ってください。アクセプト通知メールの受領後、本 APC 支援の申請フォームから申請を行ってください。研究開発推進機構において、APC 支援の可否を確認し、「支援決定通知」を発出します。

ハイブリッド OA 誌(OA 化を選択)の場合およびフルゴールド OA 誌の場合、

オープンアクセス出版の手続き完了後に、研究開発推進機構から申請者本人に請求書を送付します。本 APC 支援の対象となった場合は、研究開発推進機構にて支払い処理を実施しますので、請求書に押印の上、研究企画課まで返送ください。本 APC 支援の対象とならなかった場合は、申請者は請求書に押印後、APC を執行する研究費の予算管理部課に請求書を提出し、支払処理を実施してください。いずれのケースにおいても、WOAA 契約の「オープンアクセス出版手続きガイド」に基づき、所定の手続きを行ってください。

以上